

世界に一つだけの竹灯籠を作ってまちを知ろう 「BamSun会 ～竹灯りのまち～」

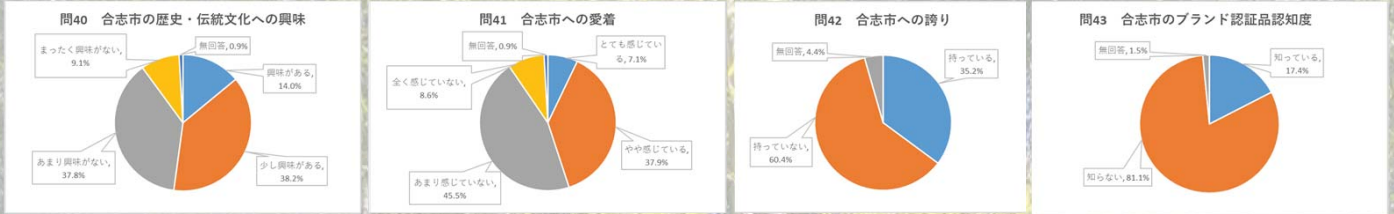
宮本拓摩・渡辺紀子・中山義崇・鍋島一紗

平成31年度合志市市民意識調査（企画課）の結果より行政課題を抽出

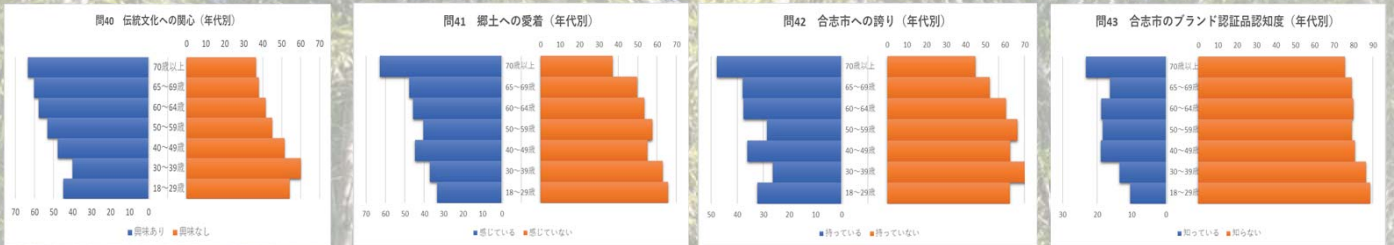
市民アンケートにご協力ください

まちづくりをすすめていくための市民意識調査

まちづくりをすすめていくための「合志市市民意識調査」とは…
 ・市企画課が毎年実施。市内に在住する18歳以上の男女3,000人を無作為抽出
 ・調査結果は行政評価のための実績値などに活用
 ・策定した総合計画及び行政の経営・運営の進捗管理のために、また、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、市の今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料としている



「年代別」に詳細に分析すると・・・



合志市は今後も約20年は人口増（社会増減・自然増減）が見込まれるが、
若年層ほど郷土愛に乏しい・・・

これを解決するために

市の特色を示し、郷土の伝統と文化に触れる機会を提供しよう！

合志市は「竹」のまち

「竹ゆ城」
 ・合志市指定文化財
 ・鎌倉時代初期から戦国時代末期まで、肥後国合志郡における政治・軍事の中心
 ・天正年間、蒲原に撤退する島津氏に焼却される
 ・現在は城跡公園として整備

自治体名	民有林面積(ha)	竹林面積(ha)	竹林割合(%)	順位
合志市	601.95	189.80	31.53	1
熊本市	4,607.54	875.03	18.99	2
玉来町	692.28	118.48	17.11	3

『熊本県林業統計要覧』（平成29年度版、熊本県）
竹林面積割合が県内一位！

竹は工作に最適

驚異的な速度で真っすぐに成長
 ・一年を通じて色が変わることがなく、しなやか
 ・軽重が非常に丈夫
 ・「よろづのことにつかひけり」と生活の中であらゆるものを支えている

こんなの作ろう！

「エコ仕様の常設型竹灯籠」
 ・光源は太陽光パネルつきのLEDライト
 ・省エネに配慮
 ・竹筒には穴を開けるなどの加工を施しデザイン性を高める
 ・竹をカラーフィルムで覆うことで、耐久性を確保
 素材に頼りながら世界に一つだけの竹灯籠を製作する

カラーフィルム

実証実験、今後の展望

期待できる効果

実際に製作
竹は地元の竹林のものを使用
しかし、製作を試みたところ、簡単に加工できなかった！

広報こうし（2018年12月号）

実際に製作している地域を訪問
 ・本市内で地域イベントとして竹灯籠を製作している郡区を訪問し、地域住民と一緒にモノづくり
 ・郡区では、約10年前から区在住の父親たちを中心に、ボランティアで地区にある自然の材料を活かして竹灯籠を作り、子どもたちのために秋祭りを開催

2019/11/3（日・祝）参加
※製作した竹灯籠を当日展示予定

今後は小学生の製作イベントや生涯学習講座などで特に若い市民を対象に、手づくりでエコ仕様の常設型竹灯籠を製作するイベントを開催したい

市民自ら地域資源を活用したモノづくりの楽しさを体験

エコ仕様の竹灯籠に普段から親しむことで、市を身近に感じ、郷土意識を高めることができる

副次的に

竹林問題解決、まちを明るく灯す竹灯籠が普及していくことにより、防犯対策への一助としたい

SPECIAL THANKS 熊本高専の石橋孝昭准教授、鍋島浩太郎氏、郡区の皆さん